

# フランス留学体験記 vol.5

相木奏太



### ～近況報告～

フランスに来て、約9ヶ月。時間の流れはとても早いものです。残りもあとわずかとなってきました。学校は6月の1週目を最後に終了し、今はお土産を買ったり、お散歩をしたりとのんびり過ごしており、パッキングをそろそろ始めないとなと思い始めている頃です。

さて、前回の冒頭で話したDELFLのテストについてですが、無事合格をしました！

まだ点数はわかりませんが、合格の知らせをホストマザーから聞きました。4月中旬から1ヶ月ほど、これの為に沢山勉強をしたので、とても嬉しいです。

### ～留学生生活を振り返って～

当初、AFSに応募する前までは、行けるのならどの国でもいいと思ってはいたのですが、今となってはフランスを選んで良かったなと強く思います。ここではとても多くのものに触れ、学び、感じ取りました。やはりいちばん大きなものとしては文化の違い。前の回などで既に話したとは思いますが、特に印象が強いのは「自由」という概念です。自由というものはとても素晴らしいです。自分の意見を抑える必要がなく、好きなようにすることができる。しかしその反面、フランスでは自由すぎて納得がいかない時があったりしたため、規則というものが存在しないと秩序が乱れてしまいます。そのため、その匙加減を上手くやるのがもっともなのですがそれが中々難しいということに気付かされたと思います。

他には、フランスではAmitiéと呼ばれる、家族愛や友情といったものを強く感じたりもしました。とにかく、色々なことを得れた気がします。

自分の能力として、向上したなと感じたことは、「努力」を続けることと、「勇気」を持つことです。色んなことに興味を持つことはとても大事です。それに加え、自分が続けたいと思ったものを毎日毎日続けることが大切だと感じました。しかし、完璧を求めすぎてはいけません。たまに休憩を入れないと、モチベーションが無くなったり、ネガティブに考えたりしてしまいます。なので、毎日毎日というよりも、昨日の自分を超越するという意識を持つのが、一人の人間として、成長をするにふさわしい態度かなと思いました。

勇気についてですが、フランスに来てから特にコミュニケーション能力が大きく向上したように感じます。日本にいる頃は、仲のいい友達以外、見知らぬ人や初対面の人に声をかけたり、会話を交えたりすることが難しかったように感じます。しかしこちらに来てから、話しかけるということにはほとんどなんの抵抗もなくできるようになってきている気がします。日本に帰ってから、学年がひとつ下がる影響や、AFSの活動を通して、色々な人と関わる機会があると思います。そこでこのコミュニケーション能力を上手く使い、たくさんの人と関係を築いて、自分の未来の行動のために繋げられたらいいなと思っています。

### ～終わりに～

高校生の時に海外留学をするのはとてもいい機会だと思います。自分の周りの環境を一新し、色々なことを学び、それを自分の将来に生かすことができます。大学入試や、就職活動をする時だけでなく、色々な場所でその経験を生かせる日が来ると思います。

なので少しでも興味がある方は「AFS」で検索or私に声をかけてもらえると嬉しいです。

最後までご覧頂きありがとうございました。